様式６

贈　与　契　約　書

○○○○（以下「甲」という。）と社会福祉法人○○会設立代表者○○○○（以下「乙」という。）は、次のとおり贈与契約を締結した。

第１条　甲は、社会福祉法人○○会の設立が認可されたときは、同法人の建設自己資金として、金○○○円、運転資金として、金○○○円、土地購入資金として、金○○○円、資産として、別記目録記載の財産を同法人に贈与することを約し、乙はこれを承諾した。

第２条　甲は、前条による贈与を同法人設立後１週間以内に行わなければならない。

第３条　社会福祉法人○○会の設立の認可が得られないときは、この契約は無効とし、これにより損害が発生した場合、甲は、損害の賠償を請求することができない。

第４条　この契約に定めていない事項については、甲、乙は誠意を持って協議の上決定するものとする。

上記契約を証するため、同文２通を作成し、甲、乙署名捺印のうえ各１通を所持する。

　　年　　月　　日（注４）

甲　　住　所

氏　名　　　　　　　　　　　実印

乙　　住　所

社会福祉法人○○会設立代表者

氏　名　　　　　　　　　　　実印

注１　契約書原本の写しを添付すること。

注２　第１条の資金、資産については、建設自己資金、運転資金、土地等の贈与の別により、必要な部分について記載すること。（別記目録は作成しなくてもよい。）

注３　甲が設立代表者の場合は、乙は設立代表者代理人とすること。

設立代表者代理人は、準備会規約に定める手続きにより選出されていること。

注４　設立代表者への委任（及び設立代表者代理人への委任）以降の日付とする必要がある。

別記目録（Ａ４）

目　　録

１　現　金

金　　　　　　　円

（内訳）

建設自己資金　　　　　円

運転資金　　　　　　　円

　　　法人事務費　　　　　　円

２　土　地

○○県○○市○○町○○丁目○○番所在の土地１筆　　　㎡

３　建　物

○○県○○市○○町○○丁目○○番所在の○○造○○建建物１棟　　　延べ　　　㎡

４　器具及び備品

　　別紙明細書のとおり

注１　贈与の内容により、必要のない項目は削除するなど、適宜変更して作成する。契約書中に、

末尾記載の財産として、契約書の末尾に記載し、目録を省略しても差し支えない。

注２　土地は、１筆毎に登記簿謄本記載のとおりに記入する。

注３　器具及び備品の贈与がある場合には、別紙明細書を作成し、添付する。目録中に記載し、別紙

を省略しても差し支えない。